

平成28年度 花火産業構想アクションプラン取組内容

施策1 花火の文化的価値を高め、継承し、広く示す拠点づくり

| No. | 事業名称 | 平成28年度取組内容 | 評価 | KPI(28年度) | 28年度決算額 | 加速化交付金の活用 |
|-----|-----------------------------|--|--|---|----------|-----------|
| 1-1 | 大仙市花火伝統文化継承事業 | ・ボランティアグループ「花火伝統文化継承プロジェクト」(佐藤紘二会長)と協働で全国から花火関連資料を収集し、仙北中学校旧合宿所に整理・保管 ・資料のデジタル化作業開始(10月～)。プログラム、ポスターを中心に約3千点実施(3月末現在) ・「大曲村年中行事絵巻物」を修復(大仙市指定有形文化財) | ・平成28年11月末時点で約11,000点の資料を収集。平成30年8月までの目標1万点を既に達成 | —— | 9,324千円 | — |
| 1-2 | (仮称)花火伝統文化継承資料館整備事業 | ・実施設計(8月～29年3月) ・女性センター及び土地区画整理事務所解体工事(7月～10月) ・測量業務(10月～29年1月) | ・平成30年8月開館に向けて、計画どおり作業を実施している | —— | 68,531千円 | — |
| 1-3 | 花火文化資料展示事業(大仙市産業展示館等での企画展示) | ・新施設整備に向けて常設展示及び企画展示の内容を検討。産業展示館については、空調やトイレ、蔵などの改修箇所を選定 | ・平成30年8月開館に向けて、計画どおり作業を実施している | —— | —— | — |
| 1-4 | 花火イベント等情報発信事業 | ・市コミュニティFM「FMはなび」で花火大会や鑑賞方法に関する情報番組「花火の星」を毎週木曜21:00～21:30に放送 ・「大曲の花火春の章」「全国花火競技大会」、「大曲の花火秋の章」、「新作花火コレクション(冬の章)」で会場から生中継を実施 | ・花火専門番組「花火の星」は花火愛好者に人気を得ている。スマートフォンアプリで聴くことができるため、特に市外・県外からの反響が大きい ・観覧会場以外で花火を観る人を中心に、ラジオの生中継を聴きながら花火を楽しむスタイルが普及しつつある | ■観光入込客数 (目標) 270.0万人 (実績) 264.3万人 ■観光入込客数推移 H26年度 263.1万人 H27年度 261.6万人 H28年度 264.3万人 | 2,976千円 | ○ |
| 1-5 | まちなか花火デザイン導入事業 | (平成28年度は取組内容なし) | —— | | —— | —— |
| 1-6 | まちなか花火シアター事業 | ・大曲ヒカリオの健康福祉会館壁面を使い、10月22日「ドリンクテーリング」などのイベントに合わせて花火映像を映写 ・7～9月の毎週金曜19:00～21:00に映像を映写 | ・大曲ヒカリオのイベントにあわせ、継続的に映写し、花火大会等の観光客の増加につなげる必要がある | | —— | —— |
| 1-7 | 花火庵運営事業(中心市街地にぎわい創出事業) | ・中心市街地の賑わい交流施設「花火庵」を設置。NPO法人大曲花火倶楽部による資料展示スペース「大曲花火屋」の開設などで花火情報を発信 | ・全国花火競技大会時の花火セミナー会場、花火鑑賞士制度のPRの場等として有効に活用が図られている | | —— | 3,770千円 |
| 合 計 | | | | | 84,601千円 | |

施策2 花火を支える人材育成・研究開発の場の創出

| No. | 事業名称 | 平成28年度の取組内容 | 評価 | KPI(28年度) | 28年度決算額 | 加速化交付金の活用 |
|-----|---------------|--|---|---|---------|-----------|
| 2-1 | 花火師育成事業 | <ul style="list-style-type: none"> ・8月29日～9月2日、火薬類製造保安責任者の資格取得支援講座を開催。花火会社から14人が受講し、9月4日の試験で10人が資格取得 ・高校生向けに足利工業大学煙火学出前講座を開催(9月13日～15日、大曲工業高校、大曲農業高校、西仙北高校、六郷高校) ・花火師向けスキルアップ講座を開催。受講者42人(3月14日、職業訓練センター) | <ul style="list-style-type: none"> ・目標どおりの実績を達成。資格取得講座には県外の花火会社からも2名が受講。花火会社からの評価も高く、継続して広く浸透させたい | <ul style="list-style-type: none"> ■火薬類製造(取扱)保安責任者資格者数 (目標)10人 (実績)10人 | 595千円 | ○ |
| 2-2 | 花火師確保支援事業 | (資格講座の受講者全員が花火会社従業員であったため、マッチング事業は未実施) | — | — | — | — |
| 2-3 | 花火の共同研究・開発事業 | <ul style="list-style-type: none"> ・大曲の花火協同組合に委託し、足利工業大学と連携した「明るく濃い青色」及び「白に近い薄い桃色」の研究開発を実施 ・大学が提供した配合比で市内花火会社が青色、桃色の花火を製作。3月18日の新作花火コレクションで各社がサンプル配合比に基づく試作玉の打上を行った | <ul style="list-style-type: none"> ・青色、桃色ともに、研究機関・花火会社の間で求める色のイメージの共有が難しく、研究内容の再検討も視野に入れながら開発を継続する | <ul style="list-style-type: none"> ■花火の研究による試作玉開発数 (目標)4種類 (実績)1種類 | 1,950千円 | ○ |
| 2-4 | 花火学習プログラム展開事業 | <ul style="list-style-type: none"> ・四季の花火の展開に伴い、夏の全国花火競技大会以外でも日中の花火セミナー等を開催する必要があるという前年度の検証を踏まえ、今年度は秋の章実施時に新規に花火セミナーを行った | <ul style="list-style-type: none"> ・花火セミナーは花火打ち上げ開始までの日中の過ごし方のひとつとして提案しており、より花火に理解を深め、次回以降も継続して訪れるきっかけとなりうる ・継続的、安定的なセミナー開催のため、講師を担う人材の育成が急務であり、特に若手の担い手発掘に関して工夫が必要 | <ul style="list-style-type: none"> ■観光入込客数 (目標)270.0万人 (実績)264.3万人 | 300千円 | ○ |
| 合 計 | | | | | 2,845千円 | |

施策3 日本屈指の花火製造・打上技術を基盤とする新たな花火生産拠点づくり

| No. | 事業名称 | 平成 28 年度 of 取組内容 | 評価 | KPI (28 年度) | 28 年度決算額 | 加速化 交付金 の活用 |
|-----|-------------------------|--|---|--|---|-------------------|
| 3-1 | 花火工場運営会社設立事業 | (27 年度で事業完了) | —— | —— | —— | — |
| 3-2 | 花火生産拠点整備事業(工場・事務所・研修施設) | ・(株)花火創造企業の煙火製造工場が 28 年 9 月着工、29 年 3 月完成。市は補助を実施 ・製造設備として、星掛け機、糊付機、卓上攪拌機、乾燥設備を導入。市は補助を実施 | ・概ね計画通りに工場整備、製造設備整備が完了し、29 年 4 月から煙火製造工場が操業 ・工場建設費補助と雇用助成により、目標と同数の雇用を創出した | ■花火創造企業の雇 用者数 (目標) 11 人 (実績) 11 人 | 工場建設費 390,000千円 (内、市補助 100,000 千円) 設備整備費 14,941千円 (内、市補助 4,980 千円) | — ○ |
| 3-3 | 花火生産拠点整備事業(用地造成・雇用助成) | ・用地造成工事は 27 年 9 月着工、28 年 7 月完成 ・(株)花火創造企業が 28 年度中 11 名を新規雇用。市は雇用助成を実施 | ・概ね計画通りに用地造成、新規雇用を実施している | | 造成工事 82,153千円 雇用助成金 8,800千円 | — — |
| 3-4 | 花火イベント企画運営サポート事業 | ・(株)花火創造企業がイベント用パイプイスを活用し、花火大会の運営サポートを実施。全国花火競技大会(9,000 席)、大曲の花火春の章(4,500 席)、大曲の花火秋の章(4,500 席) | ・引き続き各花火大会の運営を手掛けるとともに、市内外における花火イベントの企画提案・運営を行い、収益事業の拡大を目指すこととする | —— | —— | — |
| 合 計 | | | | | 495,894千円 | |

施策4 花火ブランドを活かした観光・商業・農業振興策の強化・拡充

| No. | 事業名称 | 平成 28 年度の実施内容 | 評価 | KPI (28 年度) | 28 年度決算額 | 加速化 交付金 の活用 |
|-----|---------------------------|---|---|--|---|---|
| 4-1 | 花火工場と周辺既存施設を活用した通年観光の推進事業 | (平成 28 年度は取組内容なし) | —— | —— | —— | — |
| 4-2 | 「花火のまち・大仙」キャラバン隊事業 | <ul style="list-style-type: none"> ・大宮駅「あきた産直市」(6 月)、世田谷区「せたがやふるさと区民まつり」(8 月)、有楽町駅前広場「大仙市ふるさと物産フェア」(11 月)など、首都圏で本市の観光物産をPRするキャラバン活動を実施 ・大曲エキまつり、モニターツアー、旧池田氏分家庭園ライトアップなど着地型イベントを実施 ・花火イベントを含め、本市の観光資源を広く発信するため、花火の自動撮影ができるスマートフォン用アプリ、ドローン等を使用して撮影した先進的な花火映像を公開(2 月) | <ul style="list-style-type: none"> ・首都圏でのキャラバン活動により徐々に認知度向上が図られているが、観光客の増加に結びつけるためにはそれぞれ実施している着地型イベントを他地域、他自治体とリンクし、ひとつのコースとするような仕掛けが必要である | <ul style="list-style-type: none"> ■観光入込客数 (目標) 270.0 万人 (実績) 264.3 万人 ■観光消費増加額 (目標) 677,485 千円 (実績) 98,565 千円 | <ul style="list-style-type: none"> 首都圏等 PR 7,722千円 着地型イベント 918千円 アプリ・映像制作 29,402千円 | <ul style="list-style-type: none"> ○ ○ ○ |
| 4-3 | 花火の観光商品開発事業 | <ul style="list-style-type: none"> ・既存の花火会社において、檜岡さなぶり酒花火開催などに合わせ、工場見学及び模擬玉製造体験のモニターツアーを実施 | <ul style="list-style-type: none"> ・花火大会と組み合わせた体験ツアーは参加者から好評を得ている | —— | —— | — |
| 4-4 | 「HANABI」インバウンド推進事業 | <ul style="list-style-type: none"> ・(株)あきた食彩プロデュース台湾事務所に大仙市観光物産協会職員を派遣し、観光商品・特産品等の販路開拓、関係機関との人脈作りを実施 ・県主催の台湾トップセールス(8 月)、台湾旅行会社エージェンツとの商談会(11 月)、タイの個人旅行フェア(11 月)に参加 ・3 月 16～19 日、台湾の旅行会社 3 社を招聘し新作花火コレクションなど市内観光資源を PR | <ul style="list-style-type: none"> ・台湾事務所に派遣された職員は、旅行博覧会や食品商談会などの企画運営や秋田県関係者が訪台した際のアテンドに携わり、人脈構築を図っている。11 月のエージェンツ商談会には現地参加し、3 月の本市への招聘に繋がった ・旅行商品を企画しても知名度がなければ売れないため、ターゲット国を絞り、メディアや SNS などを活用した積極的な PR 活動が必要 | <ul style="list-style-type: none"> ■観光入込客数 (目標) 270.0 万人 (実績) 264.3 万人 ■観光消費増加額 (目標) 677,485 千円 (実績) 98,565 千円 | <ul style="list-style-type: none"> 台湾職員派遣 5,196千円 商談会・エージェンツ招聘等 7,786千円 | <ul style="list-style-type: none"> ○ ○ |
| 4-5 | 花火ブランド一元化組織づくり事業 | (平成 28 年度は取組内容なし) | —— | —— | —— | — |
| 4-6 | 「花火のまち・大仙」のアンテナ・ショップ整備事業 | (平成 28 年度は取組内容なし) | —— | —— | —— | — |

| No. | 事業名称 | 平成 28 年度 of 取組内容 | 評価 | KPI (28 年度) | 28 年度決算額 | 加速化 交付金 の活用 |
|------|---------------------------|--|--|--|----------|-------------------|
| 4-7 | 「花火のまち・大仙」の「ひとくちお土産」開発事業 | ・大仙市らしい新たなおみやげ商品ブランドの開発に向け、今年度はブランドコンセプト、商品開発計画を作成。市内の食品製造業者6社がエントリー | ・作成されたブランドコンセプトに基づき、意欲ある事業者との連携を図りながら、大仙市産の農水産物を原料とした魅力的な商品開発に取り組む | ■お土産品売上額 (目標) 27,800 千円 (実績) 23,725 千円 | 5,366千円 | ○ |
| 4-8 | 花火のまちのまるごとスタンプラリー開催事業 | ・市内5花火大会(7月「協和七夕花火」、8月「全国花火競技大会」、9月「神岡南外花火大会」、10月「大曲の花火秋の章」、2月「太田の火まつり」)を巡るスタンプラリーを実施し、135人が応募。内訳は市内34人、県内他市町村61人、県外40人 | ・県外からの応募が約3割であり、集客に一定の効果があった。会場周辺の飲食店など立ち寄り場所の情報も発信し、回遊性を高める工夫も必要である | ■観光入込客数 (目標) 270.0 万人 (実績) 264.3 万人 | 1,166千円 | — |
| 4-9 | 「花火のまち・大仙」のネット・カタログ通販開発事業 | ・大仙市観光物産協会が昨年度に引き続きカタログ販売を実施。年間売上額は755,296円、販売件数は302件、平均客単価は約2,500円 ・大仙市観光物産協会が昨年度に引き続き楽天市場内に「大仙市公式アンテナショップ」を出店し、インターネット販売を実施。年間売上額は2,783,413円、販売件数は749件、平均客単価は約3,716円 | ・カタログ通販の利用者には商品発送と同時に再度カタログを発送するなど配布方法を検討する必要がある ・ネットショップでの売上を増加させるには、ウェブ上での定期的な広告掲載やポイントアップキャンペーン等の実施が必要である | ■お土産品売上額 (目標) 27,800 千円 (実績) 23,725 千円 | 7,501千円 | — |
| 4-10 | 「メイドイン大仙」の花火玉原料開発・普及事業 | ・大仙市観光物産協会に委託し、秋田県立大学と共同での花火用に適した松炭の製造条件について研究を実施 ・大曲の花火協同組合に委託し、秋田県立大学と共同での炭の粉碎加工及びコスト調査研究を実施 ・エコ玉皮は原料の品質が不安定となり、皮の破片が細かくならず、生産を継続できない状況となった | ・花火の燃焼速度には炭の精練度が関係し、その調整は簡易式の人口窯であれば短期間での確立が見込めると考えられる。松木の収集も含め、産業化に向けて管理体制の構築が必要である ・エコ玉皮は今後も生産の見通しがつかないことから、普及事業を廃止する方向としている | ■原料の研究による 試作玉開発数 (目標) 2種類 (実績) ※開発を継続中 ■エコ玉皮出荷数 (目標) 22,000 発 (実績) 0 発 | 3,935千円 | ○ |
| 4-11 | 「大曲の花・美(はな・び)」開発事業 | ・昨年度開発した顕芯(けんしん)、八重芯(やえしん)、紫銀乱(むらさきぎんらん)、和火(わび)の4種に加え、新たに紅遊星(べにゆうせい)、雪紫(ゆきむらさき)を開発 ・JA秋田おばこが平成29年1月から花き専用育苗ハウスを新設し、増殖に取り組んでいる。5月からダリア農家への種苗供給を開始し、9月から本格的に市場出荷されることが見込まれている | ・農業科学館からは栽培、大曲農業高校からは培養の取組の申し出があり、産学官で連携し地域活性化に繋げる仕組みづくりが必要である ・最終的に10点の地域ブランド化を目指すため、市場評価が高く、かつ切り花としての品種特性を備えたダリアの新品種の選抜が課題である | ■お土産品売上額 (目標) 27,800 千円 (実績) 23,725 千円 | 4,692千円 | ○ |

| No. | 事業名称 | 平成 28 年度の取組内容 | 評価 | KPI (28 年度) | 28 年度決算額 | 加速化 交付金の 活用 |
|------|-------------------------------------|--|--|---|-----------|-------------------|
| 4-12 | 国際花火シンポジウム誘致推進事業 | <ul style="list-style-type: none"> ・4 月 29 日に記念フォーラムと「大曲の花火春の章」からなる「国際花火シンポジウムプレ大会」を実施し、本大会開催へ向けての意識高揚を図った ・国際花火シンポジウム協会(本部:カナダ)との協議を重ね、29 年 4 月の開催へ向けて計画を具体化 ・会場周辺案内看板の英語表記追加、ペアール大仙による市民ボランティア養成講座、3 金融機関によるおもてなし講座を実施し、受け入れ態勢を整備 | <ul style="list-style-type: none"> ・ボランティア養成講座・おもてなし講座には一般市民、宿泊・交通事業者、商業者など多数が参加。国際花火シンポジウム開催を契機とした今後のインバウンド受け入れを見据え、意識醸成が図られた | <ul style="list-style-type: none"> ■観光入込客数 (目標) 270.0 万人 (実績) 264.3 万人 | 84,784千円 | ○ |
| 4-13 | 大曲の花火ウィーク開催事業(だいせん「花火」と「食」のおもてなし事業) | <ul style="list-style-type: none"> ・8 月 21～27 日、「大曲の花火」の開催に合わせ花火通り商店街でイベントを実施。内容は『日替わり花火 Show』、『街中音楽 Show』、7 団体参加の『マーチングフェスタ』、『ご当地グルメ王国秋田』など | <ul style="list-style-type: none"> ・花火大会に訪れる多くの観光客から、本市の地域資源と中心商店街等の魅力を広く認識していただき、継続的な賑わい創出につなげていく必要がある | — | 6,138千円 | — |
| 4-14 | 市内で開催される花火大会等への運営支援 | <ul style="list-style-type: none"> ・大曲の花火「春の章」「秋の章」をはじめ、計 14 回の市内各花火大会やイベントにおいて、花火打上を補助または委託 | <ul style="list-style-type: none"> ・大学との研究成果など新たな要素を取り入れるとともに、スタンプラリー開催事業等と組み合わせ、域外からの観光客増加を目指す必要がある ・外国人観光客の受け入れを推進するため、規模の大きな大会から他言語版プログラムの制作に着手する | <ul style="list-style-type: none"> ■観光入込客数 (目標) 270.0 万人 (実績) 264.3 万人 | 18,594千円 | ○ |
| 4-15 | 「花火のまち・大仙」を支える応援購入制度 | (平成 28 年度は取組内容なし) | — | — | — | — |
| 合 計 | | | | | 183,200千円 | |